

福井市一乗谷朝倉氏遺跡復原町並

所在地	福井市城戸ノ内町第28号43番地
所管課等	文化振興課一乗谷朝倉氏遺跡事務所

1 指定管理者の概要

名称	一般社団法人 朝倉氏遺跡保存協会	代表者	細田 国雄
所在地	福井市城戸ノ内町第28号37番地		

2 指定管理期間

令和3年 4月 1日 ～ 令和8年 3月31日（第4期目）

3 施設の利用等の状況

	(H17年度) 導入前年度	H18～22 (平均)	H23～27 (平均)	H28～R2 (平均)	R3年度 (導入16年目)	R4年度 (導入17年目)	R5年度 (導入18年目)	R6年度 (導入19年目)	R7年度 (導入20年目)
利用者数 (人)	69,964	76,947	119,240	112,639	82,376	123,814	140,938	166,317	130,464
前年度比 (人)					▲ 32,572	41,438	17,124	25,379	▲ 35,853
前年度比 (%)					▲ 28.3	150.3	113.8	118.0	▲ 21.6
利用料金 (千円)		10,599	15,668	14,969	18,399	27,969	31,130	37,286	29,272
前年度比 (千円)					1,184	9,570	3,161	6,156	▲ 8,014
前年度比 (±%)					6.9	152.0	111.3	119.8	▲ 21.5

4 納付金・指定管理料の状況

	第1期 平均	第2期 平均	第3期 平均	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
指定管理料	11,454	10,924	13,276	7,583	6,562	3,502	3,502	3,502
納付金	0	0	0	0	0	0	0	0

5 要求基準と達成状況（進捗状況）

要求基準	達成状況
復原町並の利用者数が毎年度14万人を達成する	大阪関西万博及び国道158号線通行止めの影響を受け、団体客が大幅に減少した。目標の14万人には9,536人足りなかった。
自主事業を各種団体との共催を含め、1年間3回以上実施する。	戦国城下町生活再現（4月～11月）地元小学生による遺跡案内の勉強会（4月～11月）朝倉四季のパネル展（4月～3月）暮らしに息づくモノづくり（4月～3月）

6 利用者から寄せられた苦情・意見等及びその対応状況

(施設・設備に関すること)

- 内容：・・・・交通の便が悪い バスの本数が少ない
説明看板が消えていてわかりづらい
戦国時空伝アプリの使える場所がわかりづらい。
駐車場の砂埃がひどい。
- 対応：・・・・当協会では対応できないため関係機関に要望した。

7 利用促進等に向けた取組みの実施状況

計 画	実施状況
やまぎわ天下一街道への参加	やまぎわ天下一街道事業への参加により、他観光施設との協力を得ることができた。
出向宣伝への参加	本年度は参加しなかった。
撮影等への協力	映像、TV等への撮影に協力することで、一乗谷朝倉氏遺跡のPRを行った。
戦国城下町生活再現の実施	4月5日～11月24日の毎土日祝日の開催。復原町並内に当時の生活を再現し、衣装を着て演劇披露をしたり、特産物などを販売したりした。
小谷城址保存会 100周年記念行事	本年は天候が悪く中止になった。
ホームページ・Facebook・Instagramの活用	イベントの告知や復原町並や周辺の様子を情報発信することで、より広い年齢層の人々に興味・関心を持ってもらうことができた。
和傘スカイの開催	Instagram等のSNSやテレビによる情報拡散で、若年層の誘致に成功した。

8 施設、設備の維持管理の状況

項目	実施状況及び確認方法
保守点検、運転、監視業務	保守点検は専門業者に委託し、毎月1回、もしくは年1～2回の定期点検等を行っている。(報告書等で確認) 復原町並の監視業務を、通常毎日2～3名の職員で行っている。
清掃業務	復原町並施設及び便益施設の清掃を毎日を実施
保安警備業務	日中は管理者によるパトロール、夜間は専門業者に機械警備委託(作業日報や点検報告書で確認)
備品管理	理事を中心に適正に管理
小規模修繕	施設の大規模な修繕を除き、管理運営協定に基づき実施(現地確認)

9 指定管理者のコメント

本年度来場者は昨年度と比較して 35,853 人減少した。目標の 14 万人には 9,536 人不足で目標を達成することができなかった。原因としては、4 月から大阪関西万博が始まったことから、団体客の予約が大幅減少し、個人客も大幅減少したことが上げられる。また 158 号線の通行止めもあり、岐阜方面を経由する来場者も減少した要因と考えられる。万博が終わる 10/13 以降に期待したが、11 月から閑散期に入ることから大幅な増加は見込めなかった。

入場収入は前年度より約 800 万大幅に減少し、前年度比 21.5%ダウンとなった。

支出の面では、本年度は町並職員 1 名減少しているにもかかわらず、最低賃金の上昇で、昨年より 160 万増加している。本年度は入場収入の減少と人件費の増加で、720 万の大幅赤字となった。

10 所管所属の所見

大阪関西万博開催の影響を受け、団体客が大幅に減少したことにより、目標としている 14 万人には及ばなかった。そのことが原因による入場料の減収や、最低賃金の上昇に伴う人件費の増加により令和 7 年度は大幅な減収となっている。

しかし、令和 7 年度の自主事業は、要求基準が年間 3 回以上実施のところ、4 事業を実施していることは評価できる。また、令和 7 年度を通して令和 6 年度の月間入場者数を下回っていたが、令和 8 年 2 月以降は前年同月の入場者数を上回ってきており、令和 8 年度の入場者数に期待が持てる状況である。

指定管理者には、今後、令和 8 年度要求基準である復原町並の利用者数 17 万人を達成するため、より一層の工夫を凝らした取組み、リピーターの増加に繋がるような魅力のあるおもてなし、及び積極的な情報発信と誘客活動を期待したい。

11 指定管理者、施設所管所属の評価

評価項目	視点	評価		方法	採点理由
		指定管理者	所管所属		(1)管理項目 月 日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(1)管理運営 (ア)維持管理業務	保守管理 ・清掃、法定点検の確実な実施	3	3	・点検名、実施回数等のリストの確認 ・関係書類の確認等	5月25日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	保安業務 ・保安警備の実施状況	3	3	・機械警備についての確認 ・職員による巡回警備の確認等	5月25日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	備品管理 ・適正な備品管理、台帳の整理 ・市の備品と指定管理者の備品の区分け	3	3	・現地調査で台帳と照合等	5月25日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(イ)運営業務	利用時間や休館日の設定状況 ・条例に基づいた営業内容か	3	3	・業務日報等の確認等	5月25日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	受付・承認・利用料金の收受と管理 ・一連の事務の適正な実施	3	3	・関係書類や現地調査により確認等	5月25日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(ウ)報告業務	事業報告書や収支計画書等の提出状況 ・適正な時期、内容での提出	3	3	・関係書類の確認等	5月25日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(2)サービスの内容 (ア)利用促進の取組	PR活動の推進 ・市政広報やマスメディアの活用 ・ターゲットを絞ったPR	4	4	・関係書類の確認等	ホームページ、Facebook、 で情報発信している。
	他施設や地域との連携 ・地域住民との交流 ・地域性を活かしたイベントの開催	5	5	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	戦国まつりなどのイベントを 開催し、地域住民との交流 を図っている。
(イ)サービス向上 の取組み	利用者アンケートの活用 ・アンケートの積極的な実施 ・利用者の声の施設運営への反映	5	5	・関係書類の確認等	利用者アンケートを実施し 要望事項の把握に努めて いる。
	自主事業の実施状況 ・自主事業の積極的な実施 ・新規プログラムの開拓	5	5	・事業報告書の確認等	年間5回の自主事業を行っ ている。
(ウ)要求基準の 達成状況	あらかじめ設定した数値目標の達成度 ・利用者の増減等	3	3	・事業報告書の確認等	目標人数14万人を達成す ることができなかった。
(エ)応募時の提案 事項の実施状況	提案事項の実施状況 ・提案事項の確実な実施	5	5	・事業報告書の確認等	パネル展や小学生による遺 跡の案内事業を実施してい る。
(3)安定性 (ア)管理運営体制	職員の配置状況 ・正職員とアルバイトの配置バランス ・有資格者の配置バランス ・有資格者の適切な配置	4	4	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	関係書類を確認した。状況 に応じた職員を配置してい る。
	労働関係法令の遵守 ・適正な労働条件、環境 ・休日の適正な付与	4	4	・関係書類の確認等 ・業務日報等の確認等	労務士に委託し、労働条件 を順守している
	職員の資質向上の取組み ・定期的な研修の実施	4	4	・関係書類の確認等	防火管理者研修を受講して いる。
(イ)法令等の遵守 個人情報の 管理状況	・法令等に沿った管理運営 ・個人情報に関する研修の実施 ・マニュアルの有無	5	5	・関係書類の確認等 ・マニュアルの確認等	個人情報保護マニュアルを 確認。(H28.3改訂)
(ウ)安全・衛生 対策	・安全・衛生面への配慮 ・事故防止対策の有無 ・AEDの適正な管理 ・食中毒防止のための対策	5	5	・現地調査で施設の確認 ・職員へのヒアリング等	事故後の対応もファイルに まとめている。
(エ)危機管理 対策・緊急時対策	・緊急時(災害等)の対応ができる体制の整備 ・マニュアルの有無	5	5	・関係書類の確認等 ・マニュアルの確認等	緊急時対応マニュアルを現 地で確認した。
(4)収支状況 (ア)経理処理状況	・一つの口座での会計 ・適正な内部監査体制	3	3	・会計帳簿と金融機関口座の照合 ・監査結果の確認等	現地で口座を確認。
	(イ)経費削減の 取組状況	・光熱水費の削減 ・再委託費の適正な水準	5	5	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等
合計		80	80		
割合(合計/100点満点)		0.80	0.80		